地域ぐるみの活動に貢献して 共施設以外の合宿先として、 入れること8年。住職である れあいスクール」の宿泊先と 小松さんは、市内で唯一、公 して湯日小学校の児童を受け 通学合宿事業「湯日つ子ふ

校しました。 という目的で、平成14年に開 見守り、成長を育んでいこう せ「地域全体で子どもたちを 学校の週5日制の実施に合わ は「寺スクール」に参加した 子どもたち。寺スクールは 【宿泊は子どもたちの希望で】 お寺に泊まってみたい 小松さんにお願いしたの

的な環境は喜ばしいものでし てきたばかりの私たち家族に さん。「北海道から引っ越し かったんでしょう」と小松 しでも長く友達と一緒にいた 付き合いをしているので、少 「もともと人の少ない地域 湯日地区の温かで家庭 隣近所と家族のようなお

【子は親の「鏡」】

持っています。ご家庭でのし

初からきちんとできる何かを いてくれますよ。どの子も最 との約束で、みんな素直に聞 泊まりする際の、子どもたち

つけやお父さんお母さんの行

お寺の宿泊体験では、坐禅・

ことに決めたそうです。 先としても、お寺を提供する を考え、通学合宿事業の宿泊

仲の良い友達を作る場になり ました」と、当時をふり返り た。また、子どもにとっても、

どもたちのつながりの大切さ その後、 地域への感謝と子

> 教えています。 除などの修行のほか、作法も 朝食の準備・お堂や境内の掃

> > しょう。感心することが多々 動を見て、身に付けたんで

あります。子は親の『鏡』そ

を揃える。物や友達を大切に 「あいさつをする。履き物

する。この3つが、お寺にお



#うしょうじ 養勝寺住職 **小松 周翁**さん

のものなんです」と、宿泊中 の様子を教えてくれました。 【就任式で感じた成長】

Shimadian File #31

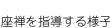
先日、小松さんは、お寺の

だそうです。 入ってくることが、しきたり ました。この式では、地元の 住職を受け継ぐ就任式を行い 子どもたちに囲まれてお寺に

「当日は、中学生たちも駆

語ってくれました。 立っています。「湯日地区で ることでしょう」と、優しく 心を持った大人になってくれ 支えてあげる環境が根付いて は、地域全体で子どもたちを そうに話してくれました。 の掛け声までしてくれて…。 も、彼らの思いつきで、突然 けつけてくれたんです。しか います。きっと、思いやりの 保護者や地域の協力で成り しかったです」と、恥ずかし がに照れましたが、とても嬉 ご近所に響き渡る声で、さす "わっしょい、わっしょい" 寺スクールや通学合宿は、









発行/編集 島田市企画部広報課 〒427-8501 島田市中央町1番の1 **A** 0547-36-7118

「広報しまだ」は、環境にやさしい植物油 100%のインクと、資源リサイクル推進のため再生紙を使用しています。 http://www.city.shimada.shizuoka.jp